

平成 30 年度第 4 回多摩市住替え・居住支援協議会 会議結果

日時：平成 31 年 2 月 12 日（火）14：00～16：00

場所：多摩市役所 本庁舎 3 階 302 会議室

獲得目標	▶平成 30 年度事業について協議・意見交換 ⇒ 相談事業、普及啓発事業、住替え支援事業について事業報告、意見交換を実施した。
	▶入居生活支援内容について協議・意見交換 ⇒ お部屋探しサポート制度（資料 3-3）について協議・意見交換を実施した。
	▶多摩市住替え・居住支援協議会の将来的な展望について協議・意見交換 ⇒ 平成 32 年度は準備期間として、平成 33 年度から会則方式に移行する方針について、協議・意見交換を実施した

主な意見（要旨の抜粋）		
内 容	意 見 等	方向性（対応）
相談事業	・ 住み替え先の確保は 6 件であったが、その他の方々はどの程度確保が必要だったのか、明確にしたい。	・ 成果が見える部分であり、成果の上げ方など協議会の評価に直結する部分なので、詳細の報告をする。
普及啓発事業	・ 普及啓発活動は地道に取り組むことも大切である。	・ 要配慮者のニーズ把握、住み替え先決定までの一連の流れ等を今後検討する。 ・ 事例を共有し、今後に生かしていく。
入居・生活支援事業	・ 平成30年度は年4回相談会を実施したが、この体制を毎日取れることが理想である。 ・ 相談内容次第では、民間での対応が難しいため、最初に受ける相談の窓口の相談者の振り分けが重要である。 ・ お部屋探しサポートについて、資料3-3右側の通りでよいと考える。	・ 令和元年6月に永山公民館（ベルグ永山）に新たに生活困窮相談窓口を設置予定である。 ⇒生活福祉課から、住宅確保要配慮者についても相談対応できるのではないかと提案を頂き、庁内で検討している。 ・ 生活困窮者の相談窓口の委託先は、福祉関係の団体であり、不動産関係のことに詳しくはない。相談会では福祉部門と住宅部門が一緒に初めの対応を行っているように、相談窓口の担当者 と住宅担当との連携により対応していく。 ・ 住宅相談については、令和 2 年度からの実施を目指している。

住替え支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て家族の住まいと住環境に関する調査について、非常に回収率が高かった。 ・リフォームリノベーション講座について、複数回開催するなど多くの人に観ていただくのがよいと考える。興味が多い人は多いはずなので、もう少し丁寧に広報するとよいのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度中に結果を取りまとめ、昨年実施した保育園での調査と比較分析を行う。 ・参加者については、もう少し幅広く、想定している子育て世帯を呼び込めるよう改善したい。
平成 31 年度の事業について	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ別連続講座については、もう少し早い時期に開催してはどうか。 ・永山フェスティバルについては、目的がわからなくなっている 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の反省点を踏まえ、開催時期の見直しを検討する。 ・実施するか、やり方の変更を含めて検討する。
協議会の将来的なあり方について	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間の要綱方式での実施後に会則方式への移行を予定していたが、準備期間を1年設け(令和2年度)、会則方式へ移行したいと考えているとのことだが、先行して会則方式でやっている都内の団体を参考にしたら運営状況が見えてくるのではないか。 ・居住支援と住替えの協議会を分けるとのことだが、2つ運営していくのは、大変ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会則方式へ移行した場合のイメージを提示しながら検討を進めていく。 ・居住支援については福祉に収斂されているところもあるが、住替えについてはまた同じ委員で集まっていたのは効率的ではない。二つに分ける必要があるのか、検討する。